

# 第3期三朝町まち・ひと・しごと創生推進会議 議事録

日時：令和7年12月22日（月）

10：00～11：00

会場：三朝町役場第2会議室

## 1 開会

藤井地域振興監	<p>ただいまから新たな地方創生の実現に向けた第3期三朝町まち・ひと・しごと創生推進会議を始めさせていただきます。</p> <p>開会にあたりまして三朝町長の松浦弘幸がごあいさつを申し上げます。</p>
---------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 2 町長あいさつ

松浦町長	<p>皆さんおはようございます。お忙しいところ第3期三朝町まち・ひと・しごと創生推進会議を開催させていただきました。</p> <p>2025年は国勢調査がありまして、今後その結果が分かりますが、人口は減っていくわけですが、どういうふうにして三朝町の人口の規模の中でまちをつくっていくか、ということが大事だというふうに思っておりますので、そういった中でのこの計画についてご審議、ご協議をいただけたらと思います。</p> <p>そして町では、令和8年度からのまちづくりの施策に、そして、その先の町の総合計画に生かして参りたいというふうに思っておりますので、今日は限られた時間でございますけど、どうぞよろしくお願い致します。</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 3 自己紹介 資料1

藤井地域振興監	<p>続きまして、この会議でございますが、三朝町では年1回の開催で進めさせていただいてるところでございます。</p> <p>この間、人事異動、それから変われるということもございましたので、委員の交代もございましたので、改めて皆様自己紹介を頂戴したく存じます。</p>
知久馬委員	<p>三朝温泉観光協会長の知久馬でございます。本業は旬彩の宿いわゆという旅館を経営しております。本日はよろしくお願いいたします。</p>
福田委員	<p>三朝町商工会会長の福田です。よろしくお願いいたします。</p>
加藤委員	<p>中部森林組合の組合長の加藤です。よろしくお願いいたします。</p>
亀谷委員	<p>倉吉のハローワークの亀谷と申します。この4月から倉吉のハローワークの所長をしております。よろしくお願いいたします。</p>
高見委員	<p>竹田地域協議会の高見です。よろしくお願いいたします。</p>
尾崎委員	<p>山陰合同銀行三朝支店の尾崎と申します。7月から着任しています。よろしくお願いいたします。</p>

	します。
小林代理	鳥取銀行倉吉中央支店の小林でございます。今日支店長の代理ということで出席させていただきました。よろしくお願いいたします。
松村委員	倉吉信用金庫本店営業部の松村といたします。今年の6月26日付けで本店営業部、三朝出張所の管轄をしております。よろしくお願いいたします。
蛸積委員	NTT西日本鳥取支店から参りました蛸積と申します。よろしくお願いいたします。
福田コンシェルジュ	鳥取県の中部総合事務所の福田と申します。4月から総合事務所の方に参加しました。よろしくお願いいたします。
青木地域振興監	自己紹介ありがとうございました。それではここからは松浦町長が議長となりまして、議事を進行することとなりましたので町長よろしくお願いいたします。

#### 4 議題

##### (1) 第3期総合戦略概要説明

人口ビジョン・・・資料2

総合戦略・・・資料3

##### (2) 意見交換

松浦町長	<p>それでは私の方から進行させていただきたいと思います。今日は第3期総合戦略のビジョンの協議ということになっておりますので、最初は概要を事務局から説明させていただきます。</p> <p>そのあと事前に資料を配っておりますので、その戦略についてのご意見を頂戴をしながら、あわせて皆さんのところの中でこれに関したことを、それ以外のことでも結構ですので、ご発言をいただけたらと思います。</p> <p>皆さんからご意見を頂戴したいので、知久馬委員から順番でしたいと思います。1人5分しゃべっていただいても大丈夫だと思います。では説明をお願いします。</p>
事務局	<p>私は、総合戦略の担当させていただいております三朝町企画健康課の米田と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>初めに資料のご説明をさせていただきたいと思います。事前に共有をさせていただいております資料ですけども、資料2人口ビジョンと、それから資料3総合戦略というものを2点事前に共有をさせていただいております。</p> <p>それで本日ですけども、資料2と資料3、若干暫定版のものと、KPIでありますとか、文章の部分が若干変わったものがございますが、基本的に資料3につきましては赤字になっているものが、第2期の戦略から新たに加えたもの、新しいものになります。</p> <p>それから資料2の人口ビジョンにつきましては、当然まだ国勢調査の最新の数値というのが反映できておりませんので、前回調査、令和2年の調査でありますとか、社人研の平成30年推計というものをもとに作成をしておりますので、今後策定を進める中で、最新の数値を可</p>

能な限り取り入れたもので、人口ビジョンも策定しようと思っておりますので、ご理解をよろしくお願いいたします。それでは藤井課長からお願いします。

それでは説明をさせていただきたいと思います。

まず、三朝町のまち・ひと・しごと創生総合戦略でございますが、平成 27 年に第 1 期を策定させていただきました。令和 2 年度からは令和 6 年度までを第 2 期という形で策定をしております、今回素案としてお示しをしているものは、令和 7 年度から令和 11 年度までとする第 3 期の戦略でございます。

分析、それから特記する点について、まずは三朝町の人口ビジョン、その次に資料 3 の創生総合戦略の案の方をご説明させていただきたいと思います。

初めに資料 2 の人口ビジョンの方をご覧いただけますでしょうか。主要なものを幾つかかいつまんでご報告をさせていただきたいと思います。先ほど事務局の米田の方からもありましたが、この第 2 期の人口ビジョンに現在最新のデータを踏まえたものということで書いたものがこちらになります。3 ページですが、総人口と年齢別人口の推移としまして表等を掲げております。この中で申し上げますと、総人口は依然として 100 人ペースでの減少が見られるということが 1 つ。それから、生産年齢人口、いわゆる 15 歳から 64 歳までの生産活動の中心となる人口でございますが、こちらの方は減少の傾向であるというところです。

それから老年人口、いわゆる 65 歳以上の方の人口は増加傾向という部分で、このままのペースで進行した場合は、近いうち逆転する見込みもあるというところが、3 ページの資料でございます。

次に 1 ページはぐっていただきますと、4 ページに年齢 3 区分の人口構成比の推移ということがお示しをしております。

先ほど申し上げたような生産年齢人口であるとか、老年人口を区分を分けて掲げているものでございますが、生産年齢人口の占める割合は 50%を下回っているという部分が 1 つ。それから老年人口の方は先ほど申し上げたように、40%上回っているということが 1 つございます。

それから 1 ページちょっとはぐっていただきまして、6 ページは出生数と死亡数の推移ということで、グラフを示しておるところでございます。この中で申し上げますと、出生数は一貫して減少傾向であるという部分、近年は水準としては最低のベースになっているというところが 1 つでございます。それから死亡数、赤の方ですけれども、死亡数は増加傾向で高齢化の影響が大きいということがグラフからも見て取れるというところでございます。

それから死亡数が出生数を上回る、いわゆる自然減というものが定着し、これを踏まえて人口の減少は続いているというところがございます。

それから 7 ページは、転入と転出の推移、社会的な増減の部分でございます。こちらの方は転出数が転入数を上回る年が多く、人口流出が続いているという部分がございます。それから、移動の中心、流出の中心というのは 20 から 39 までぐらいの方が多いというようなこと

もわかっているようです。

転入数、それから転出数ともに長期的に見てみると、大体減少傾向にあるということで、移動規模自体が小さくなっているということもこの数値からは見て取れるというところでございます。

それから、9ページでございますが、こちらは産業別の就業者数の推移を掲げております。ちょっと見にくいですが、第一次産業、第二次産業、第三次産業ということで分けておるものでございます。

この中で申し上げますと、第一次産業は、人数の割合が大幅に減少しているということでございます。折れ線グラフでいくと黄色の、それから棒グラフでいくと、青い棒グラフということでございます。それから第二次産業は人数と割合ともに概ね横ばいか、やや減少傾向である、ということです。それから第三次産業は圧倒的に増加をしております、割合も産業別で申し上げますと、70%近くまで上昇しているということが、産業別のグラフからは見て取れるというところでございます。

資料2の14ページ15ページには、三朝町の人口の将来展望ということで掲げております。先ほどしお話をさせていただいたものを踏まえて、将来展望を掲げますと次のような形となるということでございます。いくつかシミュレーションを何パターンか作って、グラフ化しておるところです。3パターンございます。

まずパターンの1、15ページに書いてあります青いグラフです。これが社人研の推計というものでございます。

次にパターンの2、これにシミュレーションとして、緑の棒グラフがあると思いますが、こちらの方は、その推計に合計特殊出生率を2.1%程度まで上昇した場合ということで加味したものでございます。

それからパターン3は、人口移動が均衡した場合ということで掲げているものでございます。これで見させていただきますと、ちょっと見にくいですが、15ページの表の中では2025年というところがございます。左から横に3つのところ、こちらの方は先ほど申し上げたパターンの1が5,432人。それからパターン2が5,487人、パターン3が5,808人ということになっております。

今後の減少傾向、どれだけ緩やかにするかというのが重要になってくるのかなということでございます。以上が人口ビジョンのご説明でございます。

続きまして、資料3をご覧くださいませでしょうか。こちらは第3期創生総合戦略の中身の方でございます。

この中で特記した部分をご説明させていただきます。まずこの戦略自体は、三朝町の総合計画の目指すべき目標であります。笑顔と元気溢れ輝くまちの実現に向けたアクションプランであるということで位置付けたものでございます。

3ページには、平成27年からの第1期、令和2年の第2期策定してきたもの。それから、当初はこの第3期の計画自体も令和6年度に策定をすることとしておりましたが、国においては例えばリーダーの変更があったり、目玉政策として様々なキーワードが発せられたとい

うこともありまして、こういったものを三朝町版の戦略にも取り入れる必要があると判断して、今回の策定に至ったというところでございます。

また、冒頭申し上げたように令和 11 年度までという計画期間をしておりますけれども、令和 10 年度には第 11 次総合計画の満了が来るというようなタイミングでございますので、この上位の計画に合わせた改定等も見据えさせていただいております。

資料 3 の 2 ページを見ていただきますと、地方創生の 2.0 を推進するというようなことを掲げております。石破内閣が 2025 年から本格稼働させた、人口減少化でも持続可能な新しい日本、それから楽しい日本を目指す。社会政策におけるキーワードということでございます。

従来の地方創生が人口減少への警鐘、維持に主眼を置いてきたのに対しまして、2.0 という、もう 1 歩進んだバージョンでは、デジタル技術の徹底活用や広域連携、地域の稼ぐ力の創出によって成長型経済への転換を重視するというものでございました。

このため、急速に進むデジタル技術の活用を教育・地域・交通・産業・暮らしなどあらゆる分野で進めて、課題解決をしていこうというものでございます。基本方針に、人口減少社会への対応、デジタル技術の活用、それから若者や女性に選ばれる地域づくりを掲げまして、三朝スタイルの 2.0 を推進するというものでございます。

それを具体化したものが、5 ページから分野別の将来像ということで掲げさせていただいているものでございます。将来像は 5 つございまして、まず 1 つ目、5 ページでございますが、感性と自立心を育むまちということで、教育、それからふるさと愛などの人の創生に関わる分野をここには掲げさせていただいております。第 2 期の戦略期間の中では、小学校の新校舎の新設、移転であったりとか、児童生徒へのタブレット端末の配布等がございました。新たな戦略の中では、教育施設の拠点集中を生かした、園-小-中の教育連携を進めるということと、あと GIGA スクールの第 2 期の推進等が挙げられます。

重要業績評価指標、いわゆる KPI というものでございますが。こちらの方も第 1 期のアンケートの結果から、刷新をさせていただいて、教育の質を高める環境整備に関わるものを新たに設定させていただきました。この中で現時点の数値が横線に入っておりますが、これは今の段階でございますので、これから数値を取りまとめて正式な策定のときには入れさせていただきたいという具合に考えております。

この赤字の部分が今回加筆修正をしたものだというところでございます。次はぐっていただきまして 6 ページ、こちらの方は図書館の貸出冊数等も掲げておりますが、昨今図書館もデジタル技術の活用を検討することがございまして、電子図書であったりとか、オーディオブック、そういったものも活用させていただいて、貸出冊数の増加に努めて参りたいというところでございます。

7 ページは分野別の将来像の 2 ということで、支え合いで伝えるつながる町ということで。いわゆる安全安心を目的としたまちの創生の部分でございます。こちらについては、消防団の再編であったりとか、消防団の連絡用ツールというもの導入がこの第 2 期の中ではございました。それから近年地震や豪雨等の災害も非常に多くなっておりますので、それを想定した防災学習会等も適宜開催をさせていただいております。それから、空き家問題に関連しても

有識者を巻き込んで空き家対策協議会等も設置をし、これからの部分について話し合いを行っているところでございます。それから、新たに7ページの一番下ですけれども、公共交通の部分でございます。公共交通の分野では、令和8年の3月をめどに、IC決済サービスが路線バス等でも導入されます。今は、JRで倉吉鳥取間とかがICOCAとか、ああいったもので使えますけれども、令和8年の3月からは現金払いに加えて、IC決済サービスの導入も路線バスでできるということになっておるところでございます。

次に、8ページと9ページには、分野別の将来像3、いのちと健康を育む町という部分で掲げております。元気に暮らし、希望を持って生活できるまちづくりを目指すということで、国におかれましては令和7年の3月にこども基本法であったりとか、鳥取県におかれましてはシン・子育て王国とっとり計画を策定されたところです。

これらを勘案して、三朝町でも、三朝町こども計画を策定をさせていただきました。近年のトレンドとしましては、親子の支援、保護者の不安や悩みに寄り添うというような形が結構ニーズとしてもございますので、安定的なサポートが町にとっても必要であるというふうと考えております。

それから健康増進、介護予防の推進を目的としましては、現在も取り組んでおりますけれども、温泉を活用した健康まちづくりが進んでいるところでございます。今年の12月初めから私もしてますけれど、こういった指輪であるとかスマートフォンのアプリを活用した健康づくりの取り組みがスタートしておるところでございます。これらの部分を含めたものもKPIの中には盛り込ませていただきました。

それから、10ページ、11ページには、分野別の将来像4としまして、豊かな資源を活かすということが掲げております。いわゆる魅力ある仕事の創生ということと、それから物価高騰、それから災害を受けたというようなことが今回ございました。一方で日本遺産の取り組み自体も重点支援地域ということで、少し通常の日本遺産よりも格が上がったというか、そういった部分もいただいたところで喜ばしい一面もあった期間だったかなという具合に思っております。町の主要産業は観光・農林業をはじめとする分野でございます。資源に磨きをかけて、外部人材の活用も検討しながら推進を進めていくというものでございます。こちらについてもKPIは赤字の部分、幾つかございますが、こういったものは加筆をさせていただきました。

この中では、年々その市場が拡大傾向にある、ふるさと納税、ふるさと応援寄付金についても、これも含めた町の資源として情報発信を努め、知ってもらう機会につなげて参りたいという具合に思っております。

また、旧三朝小学校、こちらを三朝町交流拠点施設としてオープンをさせていただいております。先行しての活用ということでございますので、今後改修や利用方法を定めた計画を策定するという予定になっております。

最後に12ページでございますが、将来像の5として笑顔で元気に暮らせる町ということで、三朝スタイルで充実した暮らしを作るということでございます。急速に進むデジタル技術の活用に対応するというので、三朝町もDXの推進計画というものを策定する予定にしておるところでございます。

	<p>こういった部分、情報を使える人使えない人の格差が生まれにくいような体制づくりを作っていかななくてはならないかなという具合に思います。</p> <p>それから、移住定住や空き家の部分では、町で初めて地域プロジェクトマネージャーという制度を活用しマネージャーを任用しました。空き家問題につきましては、空き家の所有者の方に早くから、問題意識を持ってもらうということがまず大事だという具合に考えておりますし、若い方の力だとか熱量、学生や若者が新たな視点で空き家を考えるというようなことを、高校生の方々とも取り組みを進めさせていただいております。</p> <p>それから地域協議会の活動におかれましても、コロナ前の水準に大分戻ったかなということで、多世代型の交流イベントなども取り組んでいただいているというようなところでございます。KPIについては従前のものと、それから今回新たにしたものというもので、赤黒を分けさせていただいたものを全体的に書かせていただいているところでございます。</p> <p>説明を終わらせていただきます。</p>
松浦町長	<p>ただいま概要説明をさせていただきました。これから皆さんからご意見を頂戴をしたいと思っております。皆さんの立場で地方創生に関する提案であるとか、皆さんの事業の中で参考になることを何でも結構ですので、ご発言をお願いできればと思います。では最初に知久馬委員からお願いします。</p>
知久馬委員	<p>資料3の3ページのまち・ひと・しごとのところです。まず、ひとのところですけど、私どもの観光協会といたしましては、本年度から外部人材、プロフェッショナル人材の活用ということで、外部から専門家を派遣して他地域の温泉地と三朝温泉の違いとか、そういったことを新しく情報を取り入れて地元の皆さんにも頑張っていただきたいと、そういった取り組みをしております。</p> <p>次のしごとのところですけど。コロナ後でしたかね、コンテンツ事業といたしまして温泉むすめという、全国の温泉のコンテンツということで三朝温泉も取り組んでおります。三朝温泉を訪れるお客様が大体中高年からがメインだったんですが、このコンテンツ事業、いわゆる推し活動をすることによって20代ぐらいから50代、幅広く三朝温泉の利用客が増えて参りました。それによって推しの強い方は移住をしたいということで、実際数名移住を手伝いました。</p> <p>ただここで問題は、結局就職問題が発生いたしまして。空き家とかはあるにしても、移住はしたいんですけど、仕事先がない。これさえあればまた増えるでしょうという問題もあります。</p> <p>これに関しては、もうアニメでしたら1年ぐらいでぱっと終わってしまうんですけど、この温泉むすめっていうコンテンツは何かすごい息が長くて、もう8年ぐらいは続いていると思います。三朝温泉自体は5年ぐらいだと思いますけど、この温泉のそのコンテンツで三朝歌連ちゃんというのがありまして、これは三朝町の住民登録もしたぐらいで三朝町も後押ししていただいております。</p> <p>こういったことから新しい顧客を入れようということを観光協会、旅館組合としてはいろいろ考えておりますので、これが三朝町の人口に影響してくれればと思っております。</p>

<p>福田委員</p>	<p>商工会議所へ入っている事業所は、おかげさまで少し伸びているという状況にあります。それは町の新規事業に対する施策ということが大きく関わっているのではないかなと思ってます。ここの充実をこれまで以上にお願いしたいなという部分と、今三朝温泉の方で事業をしたいという方が多々あるんですけど、その場所がないというのが現状の中で、何とかその確保ができればというふうに思っています。</p> <p>それから個人的な意見でもいいですか。やはり他の地域を見ると行政が、宅地等を用意して若い人たちを呼んでくるというような施策、ここがやはり三朝町にはちょっと欠けてる部分なのかなと思ってます。やはり役場を中心としたところにそういう場所を作っていくということが私は必要かなと思ってます。若い方に対して安く提供していく。それだったら県外に出ているこどもたちも帰ってくる可能性もあるというふうに思っています。</p> <p>大瀬の上側の方が今人口が一番増えてます。あそこが区画整理したところでこどもたちも多くなっています。やはり町に対してはこれを強く要望していきたいと思っています。やるべきだと思っています。三朝町かなり広い土地を持っていますので、これがずっと今の人口減る中で維持するというのは大変難しいことだというふうに、やはり町民の方にも認識をしていただく、ちょっときつい言葉なんですけども、これは大事なことかなと思っています。コンパクトなまちづくりということも必要ではないかと思っています。</p> <p>事業所においては、一部やはり従業員が足りないというところがあるのは事実であります。しかし、何とか少ないながらも、その事業所をまわしていくという工夫も今一生懸命商工会として取り組んでいるところでありますし、今、商工会の事業所の中に意識改革していただきたいのが事業承継であります。自分の代で終わらすのではなく、何とか日本全国の中で誰か手を挙げていただいたところに譲渡していくような形の試みを今やっているところであります。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>自分は林業に携わっているわけですけども、組合におきましても、この今の人口減少ということもありますけども、要はかなり三朝町は山どころでありまして、林業に従事されてる方も多くおられまして、組合の作業職員さんもありましたわけですけども近年減少傾向にあると。これは当然人口減少とあわせてですけれども。しかしながら、三朝町は1次産業の中で農業或いは林業とあわせて観光業が主要産業でないかなというふうに思っております。</p> <p>組合としましてもそういった若者を求めるために、今、日南町の方でアカデミーとか、それから島根県の方に林業大学とかあるわけですけどもそういったところに行かれる方に対して、奨学金制度も組合独自で設けておりますけれども、そういったことを少しでもして、若い方が地元の中でそういった我々1次産業に働いていただけるような環境づくりをしたいと思っております。</p> <p>また先ほどありましたように、空き家というものはあるわけですし、そういったところを活用して、若い方がそこに定住されて、少しでも地元の1次産業に携わっていただけたらなというふうに思っております。門戸を開いておられますので、我々もそういったことに情報発信しながら、地元の1次産業の振興に努力して参りたいなというふうに思っております。</p> <p>それと、先日、三朝温泉の方に泊まったわけですけども、良い温泉でありますし、また観光客もかなりおられるということで。人口減少の中にもありますけども移動人口はかなりあるん</p>

	<p>じゃないかなというふうに思っております。</p> <p>また、山を守る或いは農地を守ることも大事です。今、奥部の方が荒廃農地になりつつありますけども、そういったことに我々も一緒になって、行政と一緒に頑張っていきたいなというふうに思っております。作業職員がいないと山の整備ができないということがもう一番困るわけでした。そういうところにも一緒になってともに頑張っていきたいなというふうに思います。</p>
<p>亀谷委員</p>	<p>労働分野のお立場からちょっとお話をさせていただきますが、令和7年10月の有効求人倍率、鳥取県で1.28倍。倉吉のハローワーク管内では、1.32ということで、県の数字よりはちょっと高くなっております。</p> <p>求職者の方の数が減って、求人自体はそんなに減ってはいませんが、求職者の方々の数が減った関係で、求人倍率は前年同月よりも高くなっております。その中でも若年者、若い方の求職者が減っておりまして、これは実は全国的にもそうなんです。若い方が都市部へ、流出していているということが挙げられると思います。特に高校生の就職については、県外就職を希望する方の割合が、東部西部に比べて中部は結構高いということになっております。</p> <p>当然進学等で県外に行かれる方もいらっしゃると思うんですが、進学してそのまま県外の会社に就職するというのもみられますので、できれば管内の企業の魅力を伝えていただけるような機会をこちらとしても企画をしております、事業所説明会を定期的にハローワークでしております。</p> <p>そういった事業説明会に参加いただいて、当然求人を出している会社じゃないとできないんですけども、企業の魅力を存分に伝えていただけたらと思っております。</p> <p>あと、倉吉のハローワークには求職者の方は当然来られるのですが、若い方より年配の方のほうがすごく目立っております。若い方については、今スマホでも求職活動できるということもあるんですけども、失業保険、雇用保険を受給される方については、当然ハローワークに来ないといけないわけですが。そうじゃない方についてはハローワークを利用せずにとんどん就職されるっていう方も見られますので、そういった方を取り込もうとしてうちの方もLINEとか、YouTubeでハローワークに来ていただくような取り組みを行っているところでございます。</p>
<p>高見委員</p>	<p>なかなかその大きい問題なので、個別な形ではなかなかこれをこうしたらこうなるっていうふうな形にはなりにくい課題かなっていうふうに思います。</p> <p>1つは総合戦略っていうふうな立場から、すべての分野に網羅するっていう形をどうしても取らざるをえないという点はあるかと思えます。ただ、もう少し重点的な部分っていうのを、作りながら、この5年間に仕上げるっていうふうな形をとっていくような取り組みっていうのも必要なかなっていうふうに思います。</p> <p>それから地域づくりの関係で、地域づくりまちづくりセンターという構想もある中で、大事なものは、今の内々の人材ではなかなか新しいアイデアが出にくいっていうふうなことがあるのかなというふうに思います。そういう点で、いろんな人材、多様な人の意見っていうのを幅広く聞きながら、今何が求められて、何が必要かっていう部分に、焦点を当ててそれを具体化</p>

	<p>していくっていうふうな取り組みも必要なのかなっていうふうに思います。</p> <p>それから地域の農業、農地の関係ですが、私のところも山間地に位置していますのでどうかすると、あと10年、20年したら様変わりするかなっていうふうに思っております。誰が農地を保全していくかっていうことについて、もう少し深掘りしながら検討していく必要があるかなっていうふうに思います。すべての農地が守れるわけじゃないので、農地の利用形態を、考えていく。新しい農業振興計画みたいな、その農地利用の計画を見直すっていうことも必要かなというふうに思います。</p> <p>それと、経営的には個人経営が主体になっておりますので、個人経営ではなかなか年齢とともに、弱体化していくっていうふうな面がありますので、これを法人組織へ推進していくような、その取り組みっていうのがこれから特に大事かなというふうに思います。何となくの話で申し訳ないですが、そんなようなことを考えています。</p>
尾崎委員	<p>私が率直に感じたことなんですけど、どうしても人口が減ってくるとか、そういったことはもう三朝町だけではなくて、全国的な問題ではあると思うんですけど。空き家もそうなんですけど、増えてきているっていうところもそうだと思うんですけど、やはりそこを何とか活用する方法がないかなっていうような取り組みが必要ではないのかなとは思っています。</p> <p>例えば三朝町は鳥取県の真ん中、中部なので、三朝町だけではなくて、例えば倉吉とか中部、或いは鳥取・米子とか、鳥取県を跨いでの取り組みであったり、最終的には真ん中っていう立地的にはいい場所にはあると思うので、そこを利用した全体での取り組みも、あってもいいかなって思います。あとは空き家が多くなっていると、やはりそこを何か良いふうにご利用できないかなっていうところは思っています。</p> <p>私が三朝に来て思ったのは高校生と一緒にコラボみたいなことをされておられたので、これってすごくいい取り組みだなっていうふうに思いました。人が少なくなってくるっていうのはある部分は仕方がない問題だと思うんですけど、小中高生と若い人たちが、高校、大学とかで就職で出る。また帰ってきたいまちっていうのもすごく大事かなっていうふうに思ったので、そういった高校生とか中学生とかと一緒に何かを町が取り組んだりするっていう、思い出ではないですけど、そういった経験ってすごく心のどこかで故郷もう1回帰ってみたいっていうような気持ちになるような取り組みっていうのもすごくいいなと思いました。</p>
小林代理	<p>今日のこの推進会議に参加させていただく前に、三朝町というものに対してイメージで、出てきたのがやはり温泉を中心とした観光のイメージがわきました。全国的に人口減少、少子高齢化っていうのは避けられないんですけども、その1つの町の三朝町の魅力、やっぱり温泉を中心とした観光資源っていうものは非常に強みかなというふうに思います。今でもPRはされていると思うんですけども、今以上に町外に、三朝町という1つのブランドをPRしていただいて、人が交流するような仕組みづくりをますますやっていただければ、1つの三朝のスタイルができるのかなというふうに思っております。</p>
松村委員	<p>このたびの総合戦略という話の中で、私が金融機関として感じたことです。山陰合同銀行さん鳥取銀行さんも言われましたが、どこの地区も人口については、もう減少傾向にあると、非常に厳しい状況にはあるという中で、今回の総合戦略の中でも一番重要なのは、人口をいかに</p>

	<p>緩やかにしていくのかということだと思っております。</p> <p>その中で先ほども福田委員も言われましたように、創業、事業支援、事業承継というところの中で、やっぱりそこが一番重要なところなんではないのかなと感じてはおります。</p> <p>それに不随して、やはり働くところが確保できないと、なかなか皆さん定住というところにも繋がってはきませんし、その中では継続して働いていける場所の確保っていうところが町としても重要な戦略になるのではないのかなと思っております。</p> <p>本当に三朝には非常にいいものがたくさんあります。温泉を活用した観光支援、やはりこれをいかに他の地域と共存して、こちらに移住定住をしていただけるような格好を作っていたくことが重要だと思います。</p> <p>あと皆さんもご存じのように政策金利の方が金曜日に0.75まで引き上げられたというところの中で、金融支援という目線の中でいくとやはり金利上昇っていうところも出てきます。やはり宅地造成等々で定住を増やそうという中では、やはり金利負担だとか物価高騰だとか、なかなか移住がしづらい状況にはなっているような感じもしております。</p> <p>その中では、三朝町としてこういう外部からでも来ていただければ、こういう支援をしていきますよってということも前もって宣伝していただければ、人口が増えてくるでしょうし、それに伴って創業が増えたり、事業承継について事業の継続が続くっていうところも感じれるのかなと思いました。</p> <p>気になったのは、資料3の10ページです。創業起業件数が目標、KPIの目標年次数値が13に対して、現時点1件ってということなので、やはりちょっと創業関係がまだ進んでいないのかなというふうには感じております。</p> <p>やはりどこの地区も課題を持っている人口を増やしていく、空き家バンクをどう活用していくのかって言うところの中では、金融面も含めて、町とも連携しながら、支援をしていくってところがまず第一歩じゃないのかなという個人的な感想を述べさせていただきました。</p>
杉本委員	<p>人口減少に対する具体には本当に難しい課題であると思っております。郵便局としての立場で申し上げると、人口減少となると、例えば集約だとか統合だとかって言うことがすぐ言われます。地域の拠点としてはどうやって郵便局が地域のお役に立てるかということの中で、考えていかなければならないという立場であります。</p> <p>郵便局として何ができるかということだけお伝えできればと思うんですけど。郵便局のスペース、地域のコミュニティの場所であったり、情報発信の場所であったりとかっていうことでお役に立てる場合もあるかなということ。あと弊社でもデジタル。便利で進んでいくんですけど、デジタルについて行けない方も多くいらっしゃるのでもそういった方をどうやってフォローしていくかということをお社の課題としているところであります。</p> <p>地域との関わりというところでは、先ほどからあります、学生さんが三朝町をどうやって愛着を持ってもらうかっていうところで言うと、郵便局としてはトライワークの受け入れだったり、保育所との関わりというところで、何かしら地域貢献に繋がればなというところでやっております。</p>

	<p>あと郵便・物流というところでは、地域隔々まで、地域の情報が得られますので、もちろん情報には十分注意を払わなければいけないんですけども、例えば災害時における人であったり、家だったり、道路状況だったりっていうところでいろんな共有ができるかなというふうに思っています。地域が盛り上がる施策であったり、何かしら企画であったりということは郵便局としては積極的に参加をさせていただいたり、協力させていただければなというふうに考えております。</p>
<p>蛸積委員</p>	<p>NTT 西日本は、通信基盤だけではなくて、近年、社会基盤デジタルの力を使って、社会課題の解決に向けていろんなソリューション展開をさせていただいております。</p> <p>この総合戦略聞かせていただきまして、12 ページに書かれています、デジタル技術の活用推進。この辺りを使いながらどうまちづくりをしていくかっていうところが弊社が考えていくべき課題、三朝町に向かってご提案できると課題なんだろうなというふうに思っております。</p> <p>町のウェルビーイング指標をデジタル庁がまとめておりまして、いろんなデータから三朝町がどういう状況なのかっていうところ取りまとめているデータが公表されております。2025 年度版を見ますと、住宅環境であったり、自然景観、自然の恵み、あと地域の繋がりというところは、鳥取県域すべてを見渡してもトップ層の方にいます。ただ、住んでいくために必要な買い物だとか交通が、極端に低い状況というふうなデータ上見てとれております。</p> <p>この買い物だとか交通というところはやはり交通弱者。この課題はどの地域でも発生はしているものではあるんですけども、やはり定住だとか、人を呼び込んでそこにずっと住まわせていくってなってくると、これの交通買い物のところどうしていくかっていうところは非常に議論が必要なところなのかなと思っています。もう 1 点、先ほど新規事業が 1 件だったみたいなのところもあったと思うんですけども、事業創造もすごく低い値出てますので、この辺が交通関係のところ何か起因しているのか、買い物みたいなのところどこで起因してるのかまだデータ上は見て取れないんですけども、今後、そういう町のデータっていうところをとらせていただいて、それがどの施策に、どの施策の解決にどこを対応すればどの施策に効くのかみたいなのところ弊社で取り組ませていただくようなご提案をさせていただきます。我々の西日本全域でいろんなデータを取っていますので、力を使わせていただきながら、今後ご提案させていただければなというふうに思っております。</p>
<p>福田コンシェルジュ</p>	<p>中部総合事務所の福田です。この 4 月から中部に来まして、いろいろと中部の観光商工担当ということで、三朝町のいろいろな場所にも行かせていただいたりしたんですけども。やはり、三朝町といえば温泉、あと三徳山というのがすごい大きなブランドかなと思います。すでにいろいろと取り組みもされているんですけど、さらにより一層 PR をしていくことが、継続していくことが必要かなと思います。</p> <p>三朝温泉でキュリー祭、すごい良い取り組みだなと思いました。ふるさと教育の一環と言いますか、ふるさと愛というのが、こどもたちの作文聞いたりしてすごい伝わってきて、他の町よりもふるさと教育をやりやすいコンテンツがあるんだなと思ったところです。そういったところは引き続き、取り組みを進めていただくのが良いかなと思いました。</p>

	<p>あとは三徳山も山護運動とか、地域の皆さんがすごい地域愛を持って取り組んでおられるのがすごく良いかなと思ひまして。私も山護運動に参加させていただいて、県の総合事務所のみならず、県庁全体にも声掛けをしているところです。</p> <p>あと高校生とのコラボという話もあったですけども神倉大豆とか、すごい三朝町には良い食材もありますので、そういったものをブランド化に進めていくのにも若者の力が活用できるかなと思ひました。</p> <p>三朝町は良いコンテンツはあるんですけども、他にも県中部にコナンであったりとか、倉吉の白壁であったりとか、琴浦町のばけばけとかありますし、やっぱり中部全体でコナンに行った方が鳥取砂丘を見に行かれて、鳥取に泊まるっていうのではなくて、三朝温泉に滞在していただくというような取り組みを県としても、DMO やふるさと広域連合の 1 市 4 町と協力して、中部全体で盛り上げを図るような取り組みを一緒になって検討していけたらなと思ひます。</p>
松浦町長	<p>ありがとうございます。皆さんからご意見を頂戴しました。それぞれに皆さんのおっしゃることがこの地方創生の取り組みについて大事だというふうに思っています。</p> <p>社会の流れ、国の状況がいろんな形で変わったりしておりまして、国の施策もそうですが、ついていくのも大変なところがあって、そこだけについて行ってしまうと、一番大事なその基礎自治体としてのまちづくりをある面でおろそかになってしまう可能性もあって、自分たちの個性を忘れるわけではないけど、ちょっと置いてきぼりにして新しいところばかり求めていってもどうかなという感じもしております。</p> <p>特に皆さん言われた通りで、1 つには人口減少のことをどういうふうに克服をしていくかと。それは何人かのご意見もありましたけど、やはり関係人口、関係企業と言われる人をどういうふうに一緒に連携をしてやっていくかということだと思います。正直なところそういう面で三朝町は意識的にちょっと遅れていた部分もあるので、やはりそういった連携というのはしっかりとやっていきたいなというふうに思っています。それが、旧三朝小学校を活用したまちづくりセンターの大事なことだというふうに思っておりますし、東小学校に須磨学園が通信制高校を開校された後に、それから地域との関わりということもまた出てくるので、そういった部分について、これからの地方創生の 5 年間の中心の事業として据えて、合わせて、国の交付金も活用しながら整備をしていくことになろうかなというふうに思っております。</p> <p>もう 1 つは雇用のことですけど、8 年前に作った総合計画のときにもいろいろ議論があって、町の中で雇用環境を作る必要があるという意見もあったんですけど、三朝町の中で今の若い人のニーズにこたえるような雇用関係を確保するというのは非常に難しいので、やはりそれは中部圏域、或いは県内圏域の中で雇用環境を作っていくって、三朝町は住んでいただく場所だというふうな位置付けでやってきた経過もあります。</p> <p>そういうことをベースにしてこれからもやっていながら、まちの中で事業を起こしてくださる方があるかわかりませんが、そういうところも大事にしながら、今の若い方、或いは年配の方が働けるようなところ環境を作る必要があるというふうに思っています。</p> <p>それと農業のことについてもよく見たら、あれ JA 関係はメンバーに入っていないなという</p>

	<p>ふうに思いましたが、非常に農業の関係、林業の関係どちらも繋がりががあるので、そういったような形での法人化、組織化の運営というのは大事だというふうに思っております。金融の関係についても確かに事業者の支援という規模拡大だとか、経営の持続だとか、金融機関の皆さんには大変その部分をお世話になっておりますけど。もう1つは町民の支援といいますか、いわゆるそれぞれが年金をもらって生活される方、そういった方のベースにも金融の皆さんというのは非常に縁があるわけですから、そういうことにもいろんな形で何か関わっていただければというふうに思っております。</p> <p>いかにして人口減少を少なくしていくかというのが、これからの課題であって、ただ町に住んでいただく方が、誰でもいいというわけではなくて、やはりその地域に溶け合う方に、住居を構えて欲しいなという思いがあります。そこはやはり、それぞれの集落地域の皆さんとのいろんな関わりの中で人を増やしていくことに努めていきたいと思っております。</p> <p>そして、空き家対策については、やはり町内の良い場所の空き家というのが目について、いろいろそれぞれに活用だとか興味あるですけど、三朝町は面積が広いし集落も60数集落あるので、奥部の空き家ってすごくこれから非常に問題になってくるということがありますので、どこをどういうふうに空き家対策に進めていくかということも、非常にこれからただ単純な空き家を何とかするっていう話ではないのかなというふうに考えております。</p> <p>そういったことで、今日頂戴をしたご意見を、また地方創生の推進に向けて取り組んでいきたいというふうに思っておりますので、今後ともご支援をいただければというふうに思います。</p> <p>それでは私の進行はここまでとさせていただきます。</p>
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 5 閉会

藤井地域振興監	<p>予定していた時間にもなりました。この度は大変貴重なご意見等いただきました。こちらの方を参考にさせていただきながら、素案の修正等させていただいて、今後のスケジュールとしましては、年度内に策定を取りまとめるということでございますので、また修正したようなもの、それから確定したような形の部分、またご報告をさせていただければと思います。</p> <p>なお、パブリックコメント等もさせていただいての素案づくりということにさせていただきたいと思っております。それではこの第3期三朝町まち・ひと・しごと創生推進会議これで閉会をさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。</p>
---------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

11:00 閉会